

令和4年度 第3学期始業式にあたって

令和5年1月10日(火)
福岡県立若松商業高等学校
校長 大石 政男

おはようございます。

まずは、冬休みも終わり、大きな事故もなく、始業式を迎えることができ、大変うれしく思っています。

2023年新たな年を迎え10日が経ちました。改めて、新年、明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大のニュースが毎日報道され、新型コロナウイルスの収束の兆しは未だ見えません。今後も気の休まらない日々が続きますが、安全で安心できる学校生活、社会生活の維持、そして自分や家族、周囲の人たちの将来のためにも、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた基本的な感染対策の徹底を、引き続きお願いします。

さて、新たな年が始まりました。「1年の計は元旦にあり」と言われています。生徒の皆さん、「今年目標」をしっかり立てましたか。その目標達成のため、きちんと一歩踏み出すことができているか。

1年365日、その日その日の充実が一年の充実を生み、ひいては生涯の充実に結びつきます。しかし、そのことは、十分にわかっている、その一日一日の充実をなかなか実現できていないものです。皆さんには、早く正月気分を一扫して、新しい年の目標を見つけ、人生設計を描き、その目標実現に向けて、努力を続けて欲しいと思います。

「天才とは、努力を継続できる才能である」と言われます。何事も続けられれば、面白くなる、面白くなれば続けることができ、それが実力となり、生きる力につながります。人生には伸びる時期が必ずあります。その時に鍛えることが大切です。その時期の1つが、今この高校時代であり、自分を鍛え伸ばさなかったら、後からきっと後悔することになります。

「今さら」とあきらめるか、「今から」と決断するのか、「今なら」と行動するのか、今、君たちの心には、どの「今」があるのでしょうか。自分の人生は、自分で判断して、行動し、創るしかないということを決して忘れないでください。

3学期は、それぞれの学年の総仕上げとなる大切な学期です。特に、3年生の皆さんは、高校生活の総仕上げです。卒業を間近に控え、有終の美を飾るためにも、最後の高校生活をどう過ごすのが大切になってきます。4月からの新しい生活に向け、悔いの残らないように「今」を大切に高校生活を送ってください。

1、2年生は、まず進級すること。そして自分の進路を決める大切な年であり、自分の将来を真剣に考え行動を起こしてください。夢や目標の実現に向けて、「今」を大切にして、全力で取り組んで欲しいと思います。

最後に今年は、うさぎ年です。ウサギが跳びはねるイメージから、飛躍する、向上する年だと言われています。

君たちにとっても飛躍、成長できる年となり、明るい世界が広がっていくことを祈念して、令和4年度3学期の始業式の式辞とします。